

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 26 週分・6 月 23 日～6 月 29 日)

■今週の主な動向

○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者が 1 例報告されました。

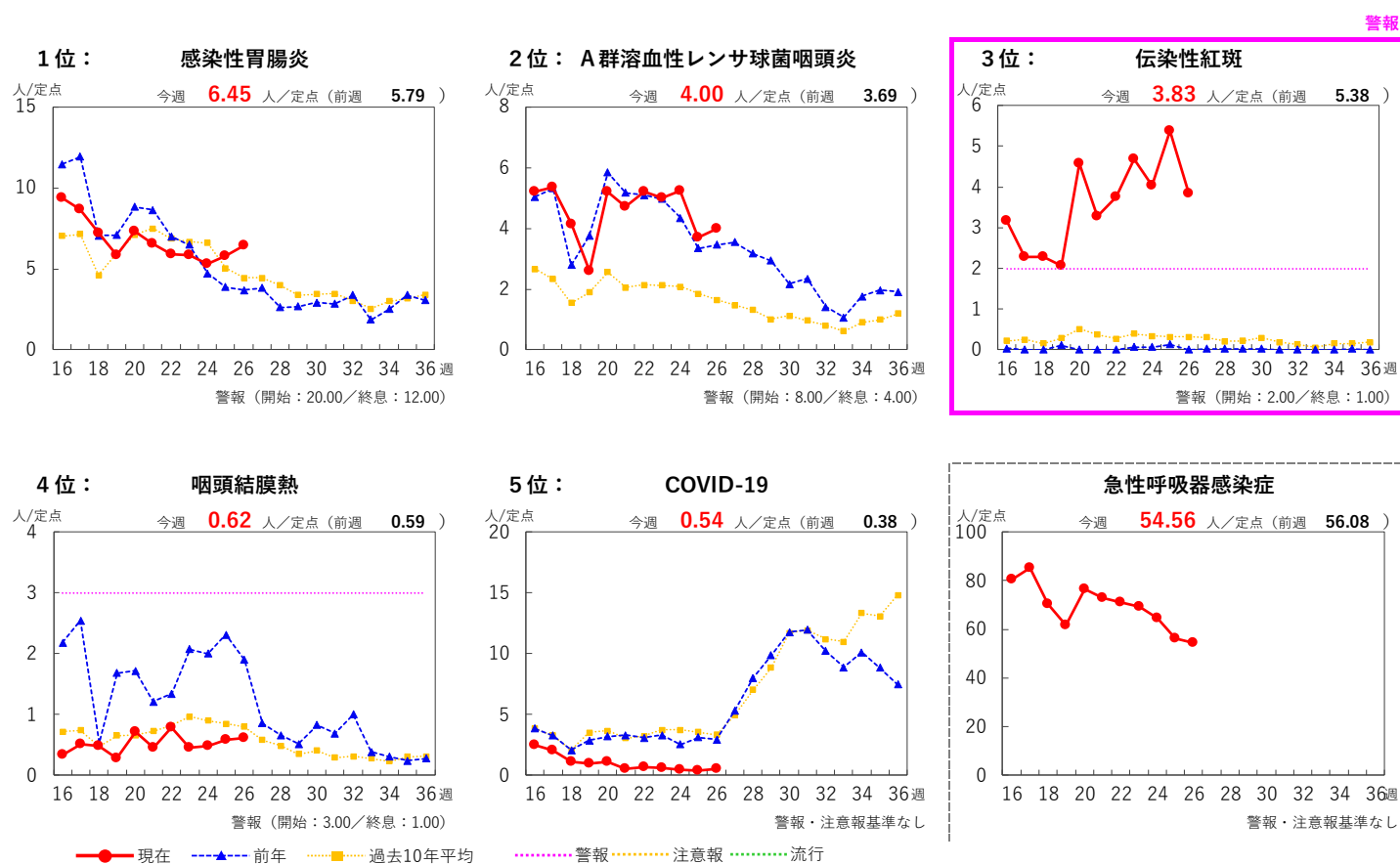
SFTS は、主に SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。患者の約 10～30%が死に至る、致死率の高い感染症です。農作業やレジャー等、野外で活動するときにマダニに咬まれないための対策が重要です（今週のインフォメーション参照）。

○百日咳の患者が今週 37 例（2025 年累積 400 例）報告されました。

10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（[第 23 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 26 週・6/23～6/29）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

四類感染症 重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 1 件 (80 歳代、女性)

レジオネラ症 1 件 (60 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 梅毒 5 件 (①②共に 40 歳代、女性 ①早期顕症梅毒Ⅰ期 ②早期顕症梅毒Ⅱ期

③④共に 50 歳代、無症候 ③男性 ④女性 ⑤60 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

百日咳 37 件 (①～⑤全て 10 歳未満、男性 ⑥～⑧全て 10 歳未満、女性

⑨～②4 全て 10 歳代、男性 ②5～②9 全て 10 歳代、女性 ③0 30 歳代、女性 ③①③2 共に 40 歳代、女性

③3 50 歳代、男性 ③4 50 歳代、女性 ③5 60 歳代、女性 ③6③7 共に 70 歳代、男性)





県内で 2 例目を確認！ 重症熱性血小板減少症候群

《 インフォメーション 》

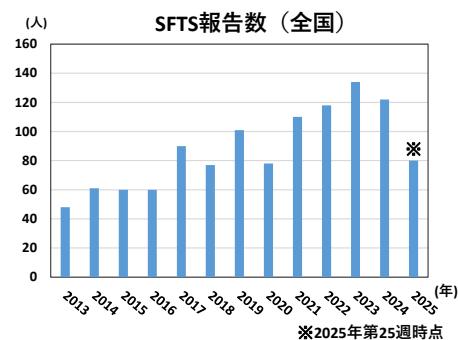
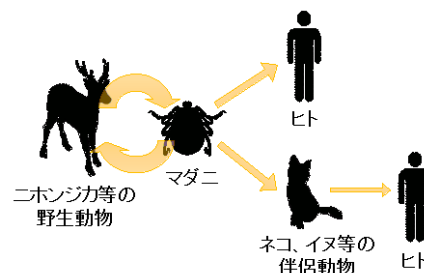
●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome; 以下 SFTS）は、SFTS ウイルスが原因のマダニ媒介性人獣共通感染症です。患者の多くは、マダニの活動が盛んな春から秋にかけて報告されています。近年、ヒトではマダニからの咬傷だけでなく、SFTS を発症したネコやイヌなどの伴侶動物を介した感染事例も報告されています（上図）。ヒトに感染すると、5～14 日の潜伏期間の後、発熱や消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）が認められ、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。血液検査では血小板減少や白血球減少、血清酵素（AST、ALT、LDH）の上昇が認められます。また、患者の約 10～30%が死に至る致死率の高い感染症です。

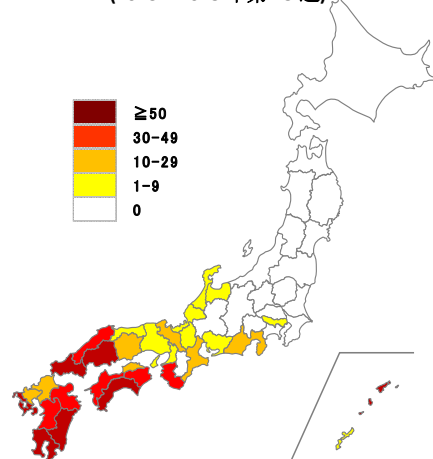
全国の患者報告数は概ね増加傾向が続いており（中図）、患者の報告地域は西日本が中心ですが（下図）、徐々に東へ広がっています。富山県では 2022 年 5 月に初めてイヌの SFTS 症例が、同年 11 月に県内初のヒトでの感染事例が確認され、今週（第 26 週）、2 例目が報告されました（[2025 年 6 月 27 日報道発表](#)）。また、愛知県など複数の県で本年 6 月に死亡例が報告されています。

治療は対症療法が主体となりますが、抗ウイルス薬の使用が検討される場合もあります。予防には野外で活動する際にマダニに咬まれないように肌の露出の少ない服装にすることや服の上や肌の露出部分にダニ忌避剤（ディート、イカリジン）等を適切に使用することが必要です。また、体調不良の動物の体液と接触しないように注意することも重要です。マダニのウイルス保有率は 0～数%と報告されていますので、マダニに咬まれたとしても過剰に不安になる必要はありません。しかし、咬まれた場合には 2 週間程度はご自身の体調変化に気をつけましょう。もし、野外活動の 1～2 週間後に発熱等の症状が認められたら、早めに医療機関を受診し、野外活動歴等があることを伝えましょう。

SFTS ウイルスの感染ルート



都道府県別 SFTS 累積報告数
(2013～2025 年第 25 週)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第26週 2025年6月23日～2025年6月29日）

分類		疾患	今週報告分（第26週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核							5	1	9	6	31	52	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							4		6	5	18	33	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2	
	四類感染症	E型肝炎									3			3	
		A型肝炎									1	1		2	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）			1			1			1			1	
		デング熱									1			1	
		レジオネラ症				1		1			1	2	1	5	9
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		1	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1		2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2			4	7
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）												1	1
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1			1	2	2	6
		侵襲性肺炎球菌感染症							5			8	3	11	27
		水痘（入院例）							1			1			2
		梅毒					5	5	2	1	3	1		17	24
	百日咳		14	9		14	37	20	85	78	16		201	400	
	風しん											1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	272	195	935	171	1,046	2,619	3,809	3,490	13,263	3,026	16,272	39,860		
		38.86	39.00	71.92	24.43	65.38	54.56								
	インフルエンザ		4			1	5	928	857	1,649	975	1,877	6,286		
			0.80			0.06	0.10								
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	COVID-19	7	2	7	4	6	26	845	337	939	635	813	3,569		
		1.00	0.40	0.54	0.57	0.38	0.54								
	R Sウイルス感染症	1	1	1		5	8	28	24	111	37	181	381		
		0.25	0.33	0.13		0.50	0.28								
	咽頭結膜熱	1	10		7	18	59	26	225	3	61	374			
		0.25		1.25		0.70	0.62								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	3	46	4	57	116	109	216	1,180	163	1,616	3,284		
		1.50	1.00	5.75	1.00	5.70	4.00								
	感染性胃腸炎	36	13	24	7	107	187	725	513	1,305	428	3,333	6,304		
		9.00	4.33	3.00	1.75	10.70	6.45								
	水痘				1	12	13	3	41	29	16	242	331		
					0.25	1.20	0.45								
	手足口病			4		2	6	2	2	24	3	15	46		
					0.50		0.20	0.21							
	伝染性紅斑	3	16	22	10	60	111	62	184	518	76	717	1,557		
		0.75	5.33	2.75	2.50	6.00	3.83								
	突発性発しん			2	1	4	7	3	12	71	19	64	169		
				0.25	0.25	0.40	0.24								
	ヘルパンギーナ	1		1		3	5	17	1	10	1	17	46		
		0.25		0.13		0.30	0.17								
流行性耳下腺炎															
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99		
流行性角結膜炎							1		15	1	2	19			
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1		
	無菌性髄膜炎										1		1		
	マイコプラズマ肺炎	1					1	15	7	19	17	4	62		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1.00					0.20									
										5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242		
	COVID-19による入院患者	1		1	1	7	10	75	68	52	113	189	497		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。